

幕張メッセで国際武器見本市 展示・商談・売買へ 県民・市民は許しません！

世界中で戦火が広がっている最中に！

ウクライナで戦争が続いています。イスラエルはガザの子どもや女性たちを大量虐殺し、周辺国にもミサイルを打ち込んでいます。インドとパキスタンの間でも激しい軍事衝突が起きました。毎日毎日、世界のどこかで多くの人々が虫けらのように命を奪われています。

そんな中で、千葉県は国際武器見本市に県有施設の幕張メッセを貸出してきました。5月21日から23日に行われる見本市には、イスラエルをはじめ多くの国の軍需企業が武器を展示し、世界から集まる各国の政府や軍部に武器を売り込む商談を行います。

武器見本市が福祉に貢献するだって？

千葉県は、国際武器見本市は福祉目的にかなっているから幕張メッセの貸し出しは問題ないと言います。

しかし武器というのは、街や工場ばかりでなく、病院や福祉施設や学校や幼児施設を攻撃し、子どもや女性や老人をはじめ多くの命を奪うものです。それを展示し、プレゼンテーションを行い、商談を進める武器見本市が福祉目的にかなっているなどというのは、子どもだって首をかしげる理屈です。

武器生産が経済振興に資するだって？

千葉県は、武器見本市は千葉県の経済の振興に資するとも言います。

しかし武器生産は経済振興に役立つどころか経済を弱めてしまいます。なぜなら、武器は自動車や工作機



械や医療機器や農機具のように人々の暮らしには役立たないからです。

武器をつくる企業は利益を得てい

ると言いますが、それはその企業の製品が社会に新たな富を提供したことへの対価ではありません。軍需企業の利益は、民生部門で額に汗して生み出した富、それが税金として集められた国家財政、そこから支払われます。軍需企業が得る利益は、その国の国家財税への寄生、吸血行為に過ぎません。だから、かつての米ソ冷戦と軍拡競争が小休止されたとき、アメリカも当時のソ連も、ホッとしたのです。



武器見本市が千葉県の国際化に役立つだって？

県は、武器見本市は千葉県の国際化にも役立つと言います。しかし、幕張メッセから武器が世界に広がっていくことは、国際化でも何でもありません。

逆に、何万人もが虐殺されたガザの市民は、飛んでくるミサイルに逃げ惑うウクライナやロシアの市民は、そしてそれを見ている世界の市民は、千葉県や日本という国に対して、「なんてひどい」と思うに違いありません。

市民生活のど真ん中で殺人・破壊兵器の展示！ 千葉県の暴挙をやめさせよう！

市民が平穏に暮らす街のど真ん中で、普段はスポーツイベント、コンサート、子どもたちの行事も行われる幕張メッセで、よりもよって人殺しと破壊のための兵器を大々的に展示する国際武器見本市。これを推進する千葉県熊谷県政に対して、私たち県民・市民は、その良心にかけて、「許すな」「やめよ」とともに声を上げましょう。

社民党

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-22-2 マルセイビル 2F
TEL 043-227-6361 E-MAIL daihyo@sdp-chiba.comp

幕張メッセで開催される「武器見本市」への協力中止を求める要請書

千葉県知事 熊谷俊人様

今年の5月21日から23日の3日間、幕張メッセで開催される国際武器見本市「DSEI・Japan」に対しては、これまで多くの県民や市民団体が、幕張メッセ設置管理条例違反であり、非核平和千葉県宣言にも反し、地方自治法にも、憲法にも反するものであるとして、中止を求めてきました。

千葉県は、国際武器見本市は福祉目的にかなっている、つまり地方自治法が「自治体施設は住民の福祉の向上に資するべき」と謳っていることに、反してはいないと繰り返してきました。また千葉県の経済振興に貢献でき、さらに千葉県の国際化の目的にもかなっているとして、武器見本市への使用を認めてきました。

しかし第一に、武器見本市は福祉目的にかなっているとは考えられません。武器見本市は、ビルや街路や工場ばかりでなく、病院や福祉施設や学校を破壊し、子どもや女性や老人をはじめ多くの命を奪う武器を展示し、そのプレゼンテーション、商談をする場です。これが福祉目的にかなっているなどというのは、県民の誰一人理解できない非常識な理屈です。

第二に、武器見本市は経済の振興に資するどころか、経済を弱体化してしまいます。なぜなら武器は、自動車や産業機械や医療機器や農機具のように人々の暮らしのニーズを満たす有益性は持たず、従って社会全体にとっての有益性も持たないからです。武器生産で得ていると見える利益は、新たに創造された富への対価ではなく、国民が民生の工業分野や農業分野などを通してすでに生み出した富＝国家財政からの純粋なマイナスです。国民が国庫に期待する教育・子育て、医療や介護や年金、防災や経済の脱カーボン化等々の諸施策、真に経済の活性化に資する諸事業から見れば、軍需はそれを侵食するものでさえあります。軍需企業の帳簿上のみかけの利益は、国庫からの横奪品の金銭換算に過ぎないと言われるゆえんです。

県は、武器生産は技術の発展や雇用の創出に資するとも言いました。しかし実際にもたらしてい

る結果はその逆です。軍需から生まれる技術は特殊で他への応用が利かず、むしろ民生技術が軍事に転用されているのが実態です。また雇用への貢献も、広がりを持続性に欠けており、逆に民間の人材獲得を阻害するとされています。国民が生産した富は、民生品生産、社会保障や教育や福祉にストレートに再投資されてこそ、より多用途な技術の発展に寄与し、継続的で多様な雇用の拡大につながります。

第三に、武器見本市は千葉県の国際化には貢献をしません。武器見本市を通じて世界中に拡散していく武器は、国際化ではなく、世界の分断と貧困化、環境悪化に貢献するだけです。国際化に貢献するのだという当局の言葉は、千葉県が、今も戦場となっている国や地域の人々と、それらの地域の惨状を憂い悲しみ、一日も早く平和が訪れることを希求している世界中の声に背を向けていることになります。

以上のことから、私たちは次のことを千葉県に要請いたします。

記

1 国際武器見本市「DSEI・Japan」に対し、公共施設である幕張メッセの貸し出しを許可しないでください。

2 千葉県議会の「非核平和千葉県宣言」や県内各市町村の「平和都市宣言」に則った平和施策を、教育の場をはじめ県政の各分野で積極的に推進して下さい。

以上

2025年4月17日

市民ネットワーク千葉県共同代表
千葉県議会議員 川口 絵未
I女性会議千葉県本部

議長 加藤 マリ子
新社会党千葉県本部

委員長 宮川 敏一
社会民主党千葉県連合

代表 工藤 鈴子